

社会福祉充実残額算定シート

1. 「活用可能な財産の算定」

項目	金額
資産 (a)	146,993,107
負債 (b)	36,827,446
基本金 (c)	1,000,000
国庫補助金等特別積立金 (d)	0
合計 (a - b - c - d)	109,165,661

- 手入力 (必須入力) するセルです (※「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」搭載版では、他シートを参照するための計算式が設定されていますので、手入力は不要となります。)
- 計算式が設定されており、入力することはできません。
- 手入力するセルです。(不明の場合は、記載要領に従って入力してください)
- 合計額を算出するための計算式が設定されており、入力することはできません。
- プルダウンリストから選択するセルです。直接入力することはできません。

2. 「社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等」

(1) 財産目録における貸借対照表価額

合計 (a)	2,812,082
--------	-----------

(2) 対応負債

項目	金額
1年以内返済予定社会福祉連携推進業務設備資金借入金	0
1年以内返済予定設備資金借入金	0
1年以内返済予定リース債務	0
社会福祉連携推進業務設備資金借入金	0
設備資金借入金	0
リース債務	0
合計 (b)	0

(3) 合計

項目	金額
財産目録合計 (a)	2,812,082
対応負債合計 (b)	0
対応基本金 (c)	1,000,000
国庫補助金等特別積立金 (d)	0
合計 (a - b - c - d)	1,812,082

3. 「再取得に必要な財産」

(1) 将来の建替費用

財産の名称等	取得年度	建設時延べ床面積 (小数点以下第4位を四捨五入)	建設時自己資金	大規模修繕実績額	減価償却累計額	建設単価等上昇率					①、②のいずれか 高い方の率	自己資金比率		合計額		
						①建設工事費 デフレクター	②1㎡当たり単価上昇率			③一般の自己 資金比率		④建設時自己資金比率				
							一般的1㎡当たり 単価 (a)	当該建物の建設時の 取得価額 (b)	建設時延べ床 面積 (c)			a/ (b/c)	建設時自己資金 (d)		d/b	③、④のいずれか 高い方の率
戸別市北1条東1丁目8番地	2004				380,860	1.357	290,000	395,850	-	-	1.357	24%	-	-	24.0%	124,038
戸別市北1条東1丁目8番地	2004				117,599	1.357	290,000	117,600	-	-	1.357	24%	-	-	24.0%	38,299
合計																162,337

※ 割合は小数点第4位四捨五入。

(3) 設備・車輦等の更新に必要な費用

合計	5,877,687
----	-----------

(4) 合計

項目	金額
将来の建替費用	162,337
大規模修繕に必要な費用	3,317
設備・車輦等の更新に必要な費用	5,877,687
合計	6,043,341

(2) 大規模修繕に必要な費用

減価償却累計額 (a)	一般の大規模修繕 費用比率 (b)	大規模修繕実績額	合計額①	※大規模修繕額が不明な場合		合計額 (①、②のいずれか)
				貸借対照表価額 (c)	合計額② ( (a×b) × c/ (a+c) )	
380,860	23%	-	-	14,990	3,317	3,317
117,599	23%	-	-	1	0	0
						3,317

4. 「必要な運転資金」

項目	金額	月数	合計額
年間事業活動支出	138,292,649	12	34,573,162

5. 「計算の特例」

項目	金額	月数	合計額
年間事業活動支出	138,292,649	12	138,292,649

6. 「社会福祉充実残額」

項目	金額	控除対象財産計	計算の特例適用
活用可能な財産	109,165,661		
社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等	1,812,082		
再取得に必要な財産	0	140,104,731	※「5. 計算の特例」の適用有無を 変更する場合、以 下のセルから選択す ること。
必要な運転資金	0		
計算の特例	138,292,649		
合計	-30,930,000		適用する

7. 「現況報告書に記載する「社会福祉充実残額」

項目	金額
社会福祉充実残額	-30,930,000
社会福祉充実計画用財産	0
合計	-30,930,000